

臨床柔道整復学Ⅴ		演習	講師 木下 美聡	
科目カテゴリー	柔道整復師コースの専門選択科目	科目ナンバリング	12361302	

1. 授業のねらい・概要

本講義では、下肢の脱臼について総合的な知識の習得を目指し講義を行います。脱臼の受傷機転、整復方法、機能障害と合併症、そして後療法について解説を加えます。併せて、下肢の骨、筋、血管、神経に至る人体解剖の復習も行っています。

2. 授業の進め方

1. パワーポイント、板書、ならびに配布資料を用いて講義を進めます。
2. 適宜、ビデオ映像なども使用して、講義を進めます。
3. 授業は対面で行い、学生は各自、筆記用具（できれば色鉛筆も）用意し、授業内容をノートしてください。

3. 授業計画

1. 概説と授業の進め方	9. 足部の解剖と機能解剖
2. 脱臼総論	10. 足部と足指の脱臼①
3. 股関節の解剖と機能解剖	11. 足部と足指の脱臼②
4. 股関節脱臼①	12. 下肢の損傷総論（骨折と脱臼の違い①）
5. 股関節脱臼②	13. 下肢の損傷総論（骨折と脱臼の違い②）
6. 膝関節の解剖と機能解剖	14. 下肢の損傷総論（まとめ）
7. 膝蓋骨・膝関節脱臼①	15. 総括・まとめ
8. 膝蓋骨・膝関節脱臼②	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

①授業計画に従って予備知識習得を1時間程度行ってください。（教科書を読み、学習キーワードをチャート式にまとめると良い）

②各單元ごとに実施する確認テストのための学習（各單元ごとに学習した内容の復習）を30分～1時間程度行ってください。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

①確認テスト後に各單元ごとの授業キーワードを説明します。（キーワードを理解することにより短期的記憶の定着をはかります）

②定期的に提出頂くレポートに対して、コメントを行います。（コメント内容を理解することにより長期記憶へと知識の定着をはかっていきます。）

6. 授業における学修の到達目標

脱臼の発生メカニズムからそれぞれの脱臼のタイプ、整復方法、症状、合併症などを説明できるようになる。

7. 成績評価の方法・基準

レポート（25%）、確認テスト（25%）、期末試験（50%）を基準として総合的に評価する。

8. テキスト・参考文献

柔道整復学・理論編改訂第6版、全校柔道整復学校協会監修、南江堂

9. 受講上の留意事項

1) 本講義は、対面で行いますが、補助教材は学生のメールアドレス、あるいは、**google classroom** に一斉送信することがあります。その際は、それぞれプリントアウトして利用してください。

2) 提出物は、指定された様式にて提出してください。(提出物には必ず、所属、学籍番号、氏名等の連絡先の記入をお願いします。)

3) 教員へのコンタクト方法：教員への直接の質問は授業後、又はオフィスアワーで受け付けます。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、医療機関における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。